

世田谷区議会公報

“「上祖師谷三丁目一家 4 人強盗殺人事件」の速やかな解決を目指した取り組みを求める意見書”を提出しました

最終更新日 令和 6 年 3 月 27 日

ページ番号 209087

「上祖師谷三丁目一家 4 人強盗殺人事件」の速やかな解決を目指した取り組みを求める意見書

平成 12 年 12 月 30 日深夜から 31 日未明にかけ、「上祖師谷三丁目一家 4 人強盗殺人事件」（いわゆる「世田谷一家殺人事件」）が発生しました。幸せなご家族の生活と尊い命を一夜にして奪った痛ましい事件は、現場に着衣やバッグ等、多数の遺留品や犯人の指紋などが残されていましたが、発生から 23 年が経過した今もなお、未解決のままであり、一刻も早い解決が望まれます。

客観証拠が重視される現在の事件捜査で、特に有効とされるのが、個人識別の精度の高い DNA 型だと言われています。DNA 型鑑定を実施した鑑定資料の数は年々増加し、殺人事件等の凶悪事件のほか、窃盗事件等の身近な犯罪の解決にも多大な成果を上げています。しかし、日本には DNA 捜査について定めた法律はなく、プライバシー保護の観点からも慎重に捜査されていると伺っています。

一方、諸外国では、身体的特徴に関する情報、いわゆる DNA 遺伝情報を含んだ部分についても、法律に基づき凶悪事件の捜査に活用され、迷宮入り事件の解決に大きく貢献しているのが実態です。

プライバシー保護の観点から DNA 捜査は、慎重の上にも慎重を期した議論のうえ厳格に法制化されるべきものでありますが、当事件の様な凶悪事件について、DNA 情報が十分に活用されていない現状は、ご遺族の思いと同様に無念でなりません。

政府におかれましては、被害者やそのご家族が 1 日でも早く前を向いて生活していけるように未解決事件の速やかな解決を目指し、限定的な DNA の遺伝情報に関するデータベースの拡充を図る等、上祖師谷三丁目一家 4 人強盗殺人事件における犯罪捜査を迅速かつ主体的に取り組んでいただくことを強く求めます。


以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出いたします。

令和 6 年 3 月 27 日

世田谷区議会議長 おぎの けんじ

内閣総理大臣 岸田 文雄様

世田谷一家殺害事件 早期解決に向けた DNA 活用の意見書を世田谷区議会が

提出 3/27(水) 22:01 配信 

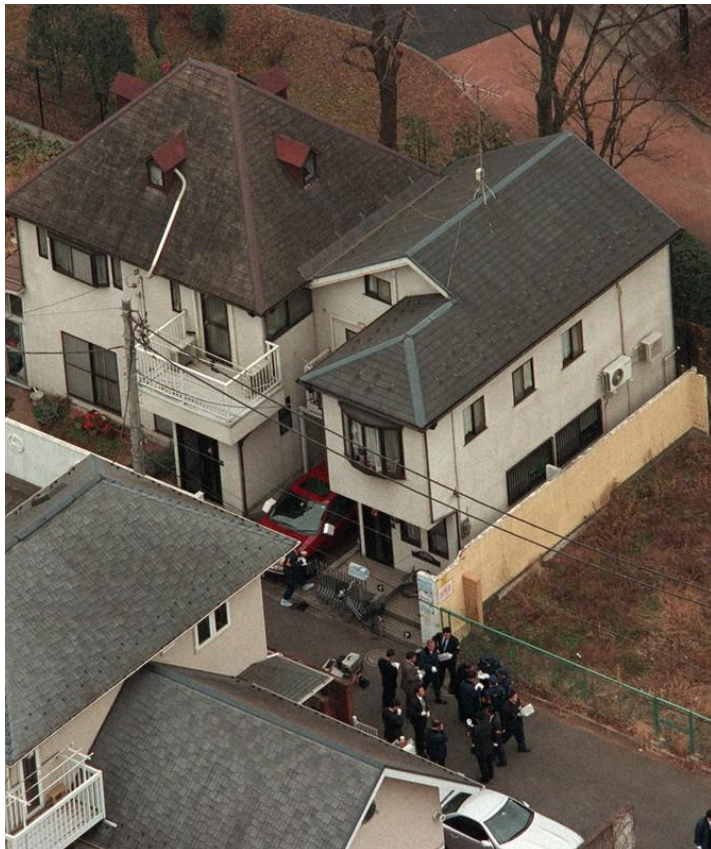


日テレ NEWS NNN

2000 年の年末、東京・世田谷区で宮沢みきおさん一家 4 人が殺害された事件の早期解決を目指して、世田谷区議会では 27 日、DNA 情報を捜査に活用するよう国に求める意見書の提出が可決されました。2000 年 12 月 30 日、世田谷区上祖師谷の住宅で、宮沢みきおさん一家 4 人が殺害された事件は、未解決のまま 23 年が経過しています。現場には指紋や DNA など多くの証拠が残されていましたが、犯人の特定には至っていません。27 日、みきおさんの母・節子さんも傍聴する中で行われた世田谷区議会。事件の早期解決を目指し DNA の遺伝情報に関するデータベースを拡充するなど、今よりもさらに DNA 情報を活用した捜査の推進を国に求める意見書の提出が賛成多数で可決されました。殺人事件被害者遺族の会「宙の会」で特別参与を務める土田猛さんは、節子さんとともに議会の傍聴した後に取材に応じ、「DNA 捜査の法制化に向けた議論の第一歩となって欲しい」と話しました。

世田谷一家殺人事件、DNA 情報活用で早期解決を 区議会が意見書

毎日新聞 2024/3/27 20:10（最終更新 3/27 20:10） 350 文字



宮沢みきおさん方（右上）＝東京都世田谷区上祖師谷で 2000 年 12 月 31 日午後 0 時 35 分、本社へりから、岩本準一撮影

2000 年 12 月に世田谷区で会社員の宮沢みきおさん（当時 44 歳）の一家 4 人が殺害された事件について、世田谷区議会は 27 日、国に早期解決を求める意見書を賛成多数で可決した。プライバシーに配慮した上で DNA の遺伝情報のデータベースを拡充し、捜査に活用するよう求めた。

意見書は区議 30 人が提出した。国内に DNA 捜査を規定する法律がない一方、海外では遺伝情報が凶悪事件解決に貢献していると指摘。「DNA 情報が十分に活用されていない現状は、遺族の思いと同様に無念だ」とした。これに対して「プライバシー保護について国民の理解が必要だ」など反対意見もあった。

Advertisement

殺人事件遺族でつくる「宙（そら）の会」特別参与の土田猛さん（76）は「DNA 情報の活用に向け、法制化の議論の第一歩となってほしい」と話した。【菅健吾】

- [朝日新聞デジタル](#)

「世田谷一家殺害事件」の早期解決求め意見書、世田谷区議会が可決

2024年3月28日 4時00分



世田谷一家殺害事件の早期解決を目指した取り組みを求める意見書を

賛成多数で可決する世田谷区議会=2024年3月27日午後5時15分、世田谷区、長妻昭明撮影



東京都世田谷区で2000年に一家4人が殺害された事件をめぐり、世田谷区議会が27日、DNA情報の活用など解決に向けた取り組みを求める意見書を賛成多数で可決した。岸田文雄首相に送付する。

意見書では、事件捜査で特に有効なのがDNA型鑑定だとした上で、「DNA情報が十分に活用されていない」と指摘。未解決のまま発生から23年を迎えた事件の解決を目指して、プライバシー保護の観点から慎重に議論しつつ「限定的なDNAの遺伝情報に関するデータベースの拡充を図る」ことを求めた。

意見書は最大会派の自民などが提案し、自民、公明などの賛成多数で可決した。立憲などの野党系会派は、個人情報保護の観点などから慎重に議論すべきだとして反対した。

世田谷一家殺害事件は00年12月31日に発覚。世田谷区上祖師谷3丁目の会社員宮澤みきおさん（当時44）宅で、みきおさんと妻泰子さん（同41）、長女にいなさん（同8）、長男礼くん（同6）が殺されているのを親族が見つけた。

現場には犯人のものとみられる血痕が残されていて、DNA型からA型の男で外国にルーツがある可能性があることがわかっている。一般からの情報提供は昨年11月時点で1万4416件寄せられた。

世田谷一家殺人事件めぐり…捜査に DNA をより活用できるよう国に法制化求める決議案 可決 東京・世田谷区議会

[フジテレビ](#) [社会部](#)

<https://www.fnn.jp/articles/-/677152>

2024年3月27日 水曜 午後7:11

2000年の世田谷一家殺人事件などをめぐり、東京・世田谷区議会は、捜査にDNAをより活用できるよう、国に法制化を求める決議案を可決した。

2000年12月、世田谷区で宮澤みきおさん一家4人が殺害された事件で、これまでの捜査では、DNA型を活用した捜査が部分的にとどまっていた。

世田谷区議会では27日、遺伝子情報から犯人の性別や年齢などの推定ができるよう、DNAをより活用した捜査の法制化を求める意見書を、国会に提出する決議案が賛成多数で可決された。

本会議は、宮澤さんの遺族も傍聴し、殺人事件の被害者遺族の「宙（そら）の会」は「1日も早い法制化に向けた議案審議を望む」としている。



[フジテレビ](#)